Ⅰ　平成 28 年度事業報告

1　会務報告

会長　望月律子

平成 28 年度理事会・常任理事会について

1　理事会開催状況

回	開催年月日	出席者		
		理事	監事	事務局
1	平成 28 年　5 月 24 日	21	3	2
2	平成 28 年　7 月 20 日	20	3	2
3	平成 28 年 10 月 18 日	17	3	2
4	平成 28 年 12 月 20 日	20	3	2
5	平成 29 年　3 月 22 日	20	3	2

主要協議事項

（1）平成 27 年度事業報告（案）について
（2）平成 28 年度定時総会議案について
・静岡県看護協会名誉会員の推薦（案）
・公益社団法人静岡県看護協会定款の一部改正（案）・平成 27 年度決算書（案）及び監査報告
・平成 29 年度日看協通常総会代議員及び予備代議員選挙について
（3）平成 28 年度定時総会静岡県看護協会会長表彰について
（4）平成 28 年度事業報告（四半期）
会務・庶務報告、教育研修部報告、事業部報告
（5）平成 29 年度定時総会の日時及び場所について
（6）平成 28 年度中間事業報告
会務・庶務報告、教育研修部報告、事業部報告
（7）平成 28 年度中間会計報告
（8）平成 29 年度静岡県看護協会事業計画・重点事項（案）
（9）平成 29 年度教育計画（案）
(10) 平成 29 年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について
(11) 公益社団法人静岡県看護協会育児・介護休業等に関する規程の改正（案）について
(12) 平成 29 年度事業計画（案）
(13) 平成 29 年度当初収支予算（案）
(14) 静岡県看護協会職能委員会委員の選任（案）
(15) 静岡県看護協会委員会委員の選任（案）
(16) 公益社団法人静岡県看護協会規程の改正（案）
(17) 脳卒中リハビリテーション看護教育課程について
(18) ナースセンター所長の採用（案）

2　常任理事会開催状況

回	開催年月日	出席者	
		理事	事務局
1	平成 28 年　4 月 12 日	6	3
2	平成 28 年　5 月 17 日	6	2
3	平成 28 年　6 月 14 日	5	4
4	平成 28 年　7 月 12 日	6	2
5	平成 28 年　8 月　9 日	6	2
6	平成 28 年　9 月 13 日	5	4
7	平成 28 年 10 月 12 日	6	2
8	平成 28 年 11 月 8 日	6	4
9	平成 28 年 12 月 13 日	6	2
10	平成 29 年　1 月 11 日	6	2
11	平成 29 年　2 月 14 日	6	4
12	平成 29 年　3 月 14 日	6	2

主要協議事項

（1）静岡県看護協会名誉会員の推薦について
（2）平成 29 年度日看協代議員・予備代議員候補者について
（3）平成 28 年度静岡県看護協会長表彰候補者について
（4）平成 28 年度定時総会進行予定表（案）・特別講演会について
（5）平成 28 年度静岡県受託事業について
（6）平成 28 年度第 1 回医療・福祉施設等看護代表者会議について
（7）関係機関・団体の役員・委員候補者の推薦
（8）定時総会資料（概要版）作成について
（9）第 1 回地区支部長連絡会議（案）
(10) 第 1 回定時理事会議案について
(11) 人材確保促進・復職支援推進のための離職者実態調査について
(12) 平成 27 年度事業報告（案）について
(13) 平成 27 年度決算書（案）について
(14) 第 38 回母子保健奨励賞・第 3 回昭和上條医療賞候補者の推薦について
(15) 平成 28 年度定時総会の運営会議について
(16) 平成 28 年度役員・委員研修会について
(17) 第 5 回静岡県看護学会　テーマについて
(18) 平成 28 年度定時総会提案及び対応について
(19) 平成 29 年度定時総会の日時及び場所について
(20) 第 45 回医療功労賞について
(21) 第 2 回定時理事会議案について
(22) 「平成 29 年度看護の日・週間企画実行委員会」委員の推薦について
(23) 訪問看護ステーションにおける人材育成に関して
(24) 第 45 回医療功労賞（海外部門）候補者の推薦

について
(25) 第 20 回秩父宮妃記念結核予防功労賞　結核予防保健看護功労賞候補者の推薦について
(26) 看護補助者活用推進のための看護管理者研修について
(27) 平成 29 年度の事業計画・予算編成について
(28) 平成 29 年度年間行事予定について
(29) 特定行為研修派遣取り扱いについて
(30) 平成 28 年度第 1 回委員長・地区支部長合同会議（案）
(31) 平成 29 年度教育計画
(32) 平成 29 年度年間行事予定について
(33)「第 46 回フローレンス・ナイチンゲール記章」・「第 6 回杉浦地域医療振興賞」候補者推薦について
(34) 静岡県看護協会訪問看護ステーション看護職員の特定行為研修派遣及び助成金交付要綱（案）
(35) 平成 29 年度静岡県看護協会事業計画・重点事項（案）
(36) 平成 29 年度総務関係会議計画（案）
(37) 第 2 回委員長・地区支部長合同会議（案）
(38) 第 2 回地区支部長連絡会議（案）
(39) 第 2 回静岡県看護協会・看護連盟合同研修（案）
(40) 平成 29 年度地域包括ケア推進事業（案）
(41) 第 4 回定時理事会（案）
(42) 第 2 回医療・福祉施設等看護代表者会議（案）
(43) 公益社団法人静岡県看護協会育児・介護休業等に関する規程の改正（案）について
(44) 平成 29 年度教育計画（案）
(45) 脳卒中リハビリテーション看護教育課程開講について
(46) 平成 29 年度重点事項（案）
(47) 平成 29 年度当初収支予算（案）
(48) 公益社団法人静岡県看護協会規程の改正（案）
(49) 認定看護師教育課程検討委員会設置について
(50)「看看連携を基盤とした地域包括ケア推進支援モデル事業」について
(51)「看護職賃金モデル」推進事業会議～働き方の多様化時代における看護職賃金のこれから～について
(52)「第 69 回保健文化賞」「第 3 回山上の光賞」候補者推薦について
(53) 平成 30 年度日本看護学会学術集会準備について
(54) 平成 29 年度事業計画（案）
(55) 平成 29 年度「職能委員会」「委員会」「特別委員会」委員候補者について
(56) 脳卒中リハビリテーション看護教育課程開講について
(57) 平成 29 年度行政機関・関係団体役員・委員について
(58) 平成 29 年度社会貢献者表彰候補者の推薦について
(59) ナースセンター所長の採用（案）
(60) 日本看護学会学術集会運営委員会要領について

3　理事・監事一覧

役職	氏　名	所　属
会長	望 月 律 子	公益社団法人静岡県看護協会
副〃	平 井 弘 美	個人
副〃	渡 邊 昌 子	聖隷浜松病院
専務	柏 崎 順 子	公益社団法人静岡県看護協会
常務	鈴 木 千 春	公益社団法人静岡県看護協会
〃	齋 藤 伸 子	公益社団法人静岡県看護協会
理事	渥 美 恵 子	個人
〃	神 谷 瀧 子	静岡医療科学専門大学校
〃	松 本 志 保 子	すずかけヘルスケアホスピタル
〃	松 井 順 子	聖隷福祉事業団法人本部
〃	知 久 宮 子	市立御前崎総合病院
〃	高 橋 典 子	伊豆今井浜病院
〃	木 内 由 美	伊東市介護老人保健施設みはらし
〃	泉 外 茂 子	静岡医療センター
〃	今 井　碧	共立蒲原総合病院
〃	野 中 教 世	静岡市立静岡病院
〃	神 尾 裕 美 子	市立島田市民病院
〃	市 川 幸 子	菊川市立総合病院
〃	川 口 多 恵 子	JA 静岡厚生連遠州病院
〃	杉 田 勇 三	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
〃	大 岩 茂 則	一般社団法人静岡県医師会
〃	廣 瀬 清 久	静岡県弁護士会
監事	岡 田 美 智 子	静岡市立静岡病院
〃	杉 山 茂 子	岡外科胃腸科医院
〃	小 野 田　武	税理士法人とうめい

2　庶務報告

専務理事　柏崎順子

1　会員に関すること

（1）平成 28 年度会員数　20,212 名
内　訳　（平成 29 年 3 月 31 日）
保健師　555 名　助産師　770 名
看護師 17,980 名　准看護師　907 名
（2）就業者数と入会率
県内就業者数　38,643 名
協会入会率　52.3%

会員の内訳と前年比較

		保健師	助産師	看護師	准看護師	総 数
就業者数	H26	1,599	952	29,174	6,918	38,643
	H24	1,530	874	27,627	7,225	37,256
会員数	H28	555	770	17,980	907	20,212
	H27	540	754	17,393	953	19,212
入会率	H28	34.7%	80.8%	61.6%	13.1%	52.3%
	H27	33.7%	79.2%	59.6%	13.7%	50.8%

※就業者数は平成 26 年 12 月 31 日調査（静岡県医療従事者調査による）

2　運営に関する会議

（1）定時総会

日時　平成 28 年 6 月 28 日（火）
場所　グランシップ　中ホール大地
会員数　19,550 名
出席者数　459 名　委任状数 16,270 名
来賓

静 岡 県 理 事	鶴 田 憲 一
静岡県病院協会会長	玉 井　直
静岡県社会福祉協議会常務理事	杉 田 勇 三
静岡県看護連盟会長	内 藤 晴 美
日本及び静岡県看護協会名誉会員	白 松 萬 里 子
静岡県健康福祉部医療人材室室長	浦 田 卓 晴

平成 28 年度定時総会セミナー14:30～
吉本新喜劇から学ぶ！最強の医療コミュニケーション「なんでやねん力！」
「WMcommons」中山　真氏・中原　誠氏

（2）地区支部長連絡会議

ア　第 1 回
日時　平成 28 年 5 月 24 日（火）
場所　静岡県看護協会　第 2 研修室
参加者　常任理事会役員・地区支部長等
（計 16 名）
内容
①平成 27 年度地区支部「まちの保健室Ⅰ」「まちの保健室Ⅱ型」集計報告について
②平成 27 年度「看護の出前授業」報告
③地区支部運営にあたっての情報交換

イ　第 2 回
日時　平成 28 年 12 月 20 日（火）
場所　静岡県看護協会　第 2 研修室
参加者　常任理事会役員・地区支部長等
（計 16 名）
内容
①地区支部運営にあたっての情報交換･意見交換
・防災研修時における保険加入について
・まちの保健室・地区支部活動について

（3）地区支部会議

日時　平成 28 年 7 月 20 日（水）
場所　静岡県看護協会　第 2 研修室
参加者　常任理事会役員・地区支部長・職能委員長　（計 17 名）
内容
・8 地区支部 4 職能委員会で、平成 28 年度予定している事業の説明。情報交換より、各々が連携して行える事業はないかを検討

（4）役員・委員研修会

日時　平成 28 年 7 月 26 日（火）
場所　静岡県看護協会　第 1 研修室
参加者　常任理事会役員・地区理事・職能理事・各委員会委員・地区支部役員等
（計 118 名）
内容
「静岡県看護協会の役割」～医療・看護の動向と静岡県看護協会事業～
望月律子（静岡県看護協会　会長）
特別講演
テーマ「特定行為に係る看護師の研修制度の活用」
講師　洪　愛子（日本看護協会　常任理事）

（5）医療・福祉施設等看護代表者会議

ア　第 1 回
日時　平成 28 年 5 月 26 日（木）
場所　静岡県看護協会　第 1 研修室
参加者　医療・福祉施設等看護代表者・役員等
（計 165 名）
内容
①静岡県看護協会の活動について
・看護の動向と静岡県看護協会の活動
・平成 28 年度教育計画について
・平成 28 年度事業部事業計画について
・平成 28 年度災害支援ナース登録状況
・各職能委員長から
・ナースセンターから
・平成 28 年度行事計画
②講演
・「医療と介護の連携について～地域包括ケアシステムの推進～」
壁下敏弘（静岡県健康福祉部　理事）
・「地域密着型サービス　看護小規模多機能型居宅介護事業の紹介」
櫻井悦子（聖隷訪問看護ステーション千本所長）

イ　第 2 回
（ア）中部地区・西部地区
日時　平成 29 年 1 月 17 日（火）
場所　静岡県看護協会　第 1 研修室

参加者　医療・福祉施設等看護代表者・役員等（計 115 名）

（イ）東部地区

日時　平成 29 年 1 月 18 日（水）

場所　三島文化会館　大会議室

参加者　医療・福祉施設等看護代表者・役員等（計 66 名）

内容

①日本看護協会の動向について

②平成 28 年度重点事業の進捗状況・課題等報告

・教育研修部関係

・事業部関係

・各職能委員会の取り組み

・ナースセンター事業

・平成 28 年度災害支援ナース派遣調整合同訓練報告

・看護補助者活用推進のための看護管理者研修報告

・新「会員情報管理体制」（ナースシップ）

③平成 29 年度事業計画について

・事業計画　重点事項について

・教育計画について

（6）委員長・地区支部長合同会議

ア　第 1 回

日時　平成 28 年 10 月 12 日（水）

場所　静岡県看護協会　第 1 会議室

参加者　常任理事会役員・職能理事・委員会委員長・地区理事等（計 28 名）

内容

・平成 29 年重点事項（案）について

・公益社団法人定款第 4 条の事業に合わせた事業細目と公益性について

・平成 29 年度事業計画立案及び予算について

イ　第 2 回

日時　平成 28 年 12 月 13 日（火）

場所　静岡県看護協会　第 1 会議室

参加者　常任理事会役員・職能理事・委員会委員長・地区理事等（計 26 名）

内容

・平成 29 年度委員会・地区支部事業計画と予算調書（案）について

（7）日本看護協会との連携に関する会議への出席

（8）社会参加・他機関との連携に関する会議への出席

ア　関連機関・他団体への委員会等就任

イ　関係機関・関係団体の会議等への出席

ウ　関係機関・関係団体主催事業への参加

（ア）関係機関・関係団体への後援

（イ）健康づくり活動事業への支援

・「しずおか健康いきいきフォーラム 21」への情報提供

・健康づくり活動情報（看護の日事業、まちの保健室等）

（ウ）救護支援及び協力員の派遣

・第 32 回日本平桜マラソン

救護：静岡地区支部会員 17 名派遣

・第 17 回静岡県市町対抗駅伝競走大会

救護：静岡地区支部会員 21 名派遣

・第 12 回遠州リレーマラソン大会 in 浜名湖ガーデンパーク

救護：西部地区支部会員 2 名派遣

・第 26 回ふじかわキウイマラソン

救護：富士地区支部会員 3 名派遣

・「ﾘﾚｰ･ﾌｫｰ･ﾗｲﾌ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ 2016 静岡」

救護：会員 6 名派遣

3　公益社団法人静岡県看護協会規程の改正

（1）公益社団法人静岡県看護協会定款・定款細則

施行　　平成 28 年 6 月 28 日

（2）公益社団法人静岡県看護協会育児・介護休業等に関する規程

施行　　平成 29 年 1 月 1 日

（3）公益社団法人静岡県看護協会給与規程・施行細則

施行　　平成 29 年 4 月 1 日

（4）公益社団法人静岡県看護協会就業規程

施行　　平成 29 年 4 月 1 日

（5）公益社団法人静岡県看護協会職員再雇用に関する規程

施行　　平成 29 年 4 月 1 日

（6）公益社団法人静岡県看護協会非常勤等職員就業及び給与規程

施行　　平成 29 年 4 月 1 日

（7）公益社団法人静岡県看護協会訪問看護ステーション非常勤職員就業及び給与規程

施行　　平成 29 年 4 月 1 日

4　会員の表彰

（1）叙勲

平成 28 年春	瑞宝双光章	桑 原 弓 枝
平成 28 年春	瑞宝単光章	鈴 木 貞 子
平成 28 年秋	瑞宝双光章	永 井 茂 子
平成 28 年秋	瑞宝単光章	山 田 峰 子

（2）静岡県知事表彰　　齋 藤 伸 子

（3）平成28年度日本看護協会会長表彰
渥美恵子　鈴木千春　深江久代　望月律子

（4）平成28年度静岡県看護協会会長表彰
赤池静枝　　村松敬子

5　災害支援ナースの登録
平成28年度災害支援ナース登録者数
個人登録者数：418名
（内訳：102施設　410名　個人 8名）
施設登録数：58施設（登録可能人数270名）

6　新入会員研修
東部（1回）中部（4回）西部（2回）で開催
(617名受講)

7　看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
日時　平成28年10月29日（土）9:20~16:00
場所　静岡県看護協会　第1研修室
受講者　127名

8　広報事業
（1）機関紙「看護しずおか」6回発行
（2）定時総会資料・教育計画の作成・配布
（3）平成 28 年度静岡県看護協会パンフレットの作成・配布
（4）日本看護協会関係
ア　協会ニュース、入会のしおり、平成 28 年度事業概要及び都道府県看護協会一覧、日本看護協会事業案内、忘れられない看護エピソード配布、日本看護学会学術集会等の案内
イ　中央における教育計画、会員バッジ、その他
（5）静岡県看護協会ホームページによる広報
（6）マスメディア等を通じて協会の事業の広報
（7）静岡県看護協会ロゴマークの活用

3　教育研修部報告

常務理事　齋藤　伸子

1　研修の実施
人材育成を促進するための継続教育を委員会と連携し実施した。年間を通し、43研修67コースを241日開催し、3,143名が受講した
（1）　継続研修(一般研修)
ア　看護実践能力育成研修
10研修　12日　556名
イ　組織的役割遂行の育成研修
9研修　24.5日　493名
ウ「自己教育の推進」
1研修　2コース　2日　59名
エ「研究能力の育成」
3研修　7コース　13日　203名
オ　日本看護協会主催インターネット配信研修
2研修　4コース　8日　611名
カ　特別研修
（ア）　トピックス研修 2研修　1日　114名
（イ）　公開研修　　4研修　20.5日　105名
（ウ）日看協【manaba】活用研修　2H　71名
（2）資格認定教育
ア　認定看護管理者教育課程
（ア）「ファーストレベル」
27日　66名+教科目受講1名が受講
67名修了
（イ）「セカンドレベル」
32日　32名受講　32名修了
（ウ）「サードレベル」
32日　22名受講　22名修了
（エ）「セカンドレベルフォローアップ研修」(33名)
イ　認定看護師教育課程「脳卒中リハビリテーション看護」
（ア）「脳卒中リハビリテーション看護フォローアップ研修」　1日　23名
（イ）「排尿自立支援フォローアップ研修」臨時開催
臨時開催　0.5日　2コース　60名
（3）静岡県からの受託研修
ア　新人看護職員研修　8コース16日 延463名
全コース参加48名、公開講座5コース96名
新人助産師研修　17名
イ　新人看護職員指導者研修　5日
「新人看護職員研修責任者研修」15名
「新人看護職員教育担当者・実地指導者研修」78名
ウ 静岡県看護職員等実習指導者講習会
41日　87名受講　87名修了
エ　静岡県看護職員等実習指導者講習会【特定分野】　7日　18名受講　18名修了
オ　看護教員継続研修
段階別研修【ベテラン期】2日間　33名
トピックス研修　1日　126名
カ「重症心身障害児(者)対応看護従事者研修」
1日＋実習　59名
（4）その他
ア　S-QUE研究会「看護必要度ｽﾃｯﾌﾟｱｯﾌﾟ研修」
イ　日本看護協会出版会全国看護セミナー
「看護実践に生かすエンド・オブ・ライフケアのスキル」

2　看護研究の推進
（1）第5回　静岡県看護学会　H29年1月21日
テーマ「なぜ『寄り添う』がむずかしいのか」

研究発表 18 題、基調講演、シンポジウム
参加者　381 名

（2）学術研究振興支援

ア　研究助成金　　申請 0 件

イ　研究倫理審査

研究倫理審査委員会　開催なし

（3）日本看護協会第 49 回（H30）日本看護学会－慢性期看護－学術集会開催の決定

ア　第 47 回学会を視察

3　資格認定教育の運営

（1）認定看護管理者教育課程（各教育課程）

ア　受講審査による受講者決定と修了認定

イ　教育機関認定更新審査を受審

平成 36 年 3 月 31 日まで認定された

（平成 29 年 1 月 20 日付）

（2）認定看護師教育課程「脳卒中リハビリテーション看護」

特別委員会「運営検討員会」を開催し、審議内容の答申を受け、下記を決定した

ア　平成 30 年度第 5 期の開講について

受講者の確保が難しいので休講とする

イ　教育課程の存続について、

受講者の確保できる可能性が少ないことに加え、教育機関認定の時期と日本看護協会認定看護師制度の変更時期が重なるため、ひとまず閉講とする

ウ　フォローアップ研修は継続する

4　平成 29 年度研修計画

教育計画の枠組みは前年度を継続、研修項目にｅラーニング導入を検討した。

5　研修講師の紹介

１件の紹介依頼があり、１人の講師を紹介した

6　その他

平成 26～28 年に実施した認知症患者の看護の 2 研修について、診療報酬加算の対象研修の承認を得て、163 人に対象研修としての修了証を発行した

4　事業部報告

常務理事　鈴木千春

1　看護職の労働条件・労働環境改善事業

（1）看護職のワーク・ライフ・バランス推進への取組み

ア「ＷＬＢ推進のための研修会」

日時　平成 28 年 9 月 3 日（木）9:30～16:00

場所　静岡県看護協会

参加者　参加施設　3 施設　23 名

支援者他　14 名

実践報告　「磐田市立総合病院におけるＷＬＢ推進実践報告」

報告者　平野一美（磐田市立総合病院　副病院長兼看護部長）

実践報告　「すずかけヘルスケアホスピタルにおけるＷＬＢ推進　実践報告」

報告者　松本志保子（すずかけヘルスケアホスピタル　看護部長）

講義　「ＷＬＢ導入時に欠かせない重要なポイント」

講師　浅野秀浩(（株）お仏壇のやまき　代表取締役社長)

イ　インデックス調査の実施（参加 3 施設）

ウ　看護職のワーク・ライフ・バランス推進フォローアップワークショップの開催

日時　平成 29 年 1 月 27 日（金）9:30～16:00

場所　静岡県看護協会

参加者　参加施設　6 施設　33 名

聴講者　社会保険労務士他 3 名 支援者他 13 名

内容　参加 6 施設による実践報告

講演　「これからのワーク・ライフ・バランス推進の鍵」

講師　中島美津子（東京医療保健大学　東が丘・立川看護学部大学院看護学研究科教授）

（2）参加施設への訪問、アクションプラン、取組み状況シートによる相談対応、進捗状況の確認

（3）広報

・静岡県看護協会ホームページの活用

・「看護しずおか」への掲載

2　訪問看護・居宅介護支援事業

（1）訪問看護事業

ア　利用者の生活の質を重視した適切な訪問看護を、24 時間対応体制で提供

イ　市町村、地域の医療・保健・福祉、介護サービス事業所との連携により利用者サービスの充実、向上への取組み

ウ　利用者満足度調査の実施による自訪問看護サービスの評価

エ　看護学生・病院看護師等の実習受入れと指導

オ　施設内外研修の参加による人材育成と看護の質の向上

カ　講師等の派遣

キ　地域連携事業

ク　実績

訪問看護利用者数延　　6,765 名
訪問看護件数延　　34,808 件

（2）居宅介護支援事業

ア　利用者の自立支援に根差したケアプランの作成と利用者家族への支援

イ　利用者満足度調査の実施による自居宅介護支援の評価

ウ　地域包括支援センター等関連機関との連携、会議等の出席

エ　実績

ケアプラン数　　1,440 件

（3）諸会議の開催

ア　訪問看護ステーション所長連絡会議　3 回

イ　訪問看護ステーション事業経営会議　4 回

（4）訪問看護ステーション職員合同研修の実施

「地域の暮らしと医療を支える訪問看護師が、十分に能力を発揮しいきいきと活躍するために、心の健康について学び自分でできるリフレッシュの仕方を知る」

日時　平成 28 年 4 月 23 日(土)　9:30～12:30

場所　静岡県看護協会

参加者　44 名

講義　「静岡県看護協会の訪問看護の方向性」

講師　望月律子（静岡県看護協会　会長）

講義「心豊かに訪問看護をいきいきと楽しもう！～こころが笑うとは～」

講師　中井宏次（日本笑い学会　理事）

3　訪問看護師養成講習会

日本訪問看護財団の「訪問看護ｅラーニング」の受講及び、当協会企画の講義・演習、訪問看護ステーション実習により、在宅看護に必要な基礎的知識と技術を習得し、質の高い在宅ケアの提供に資することを目的としている。

（1）訪問看護師養成講習会（e ラーニングを活用した訪問看護研修ステップ 1）

期間　平成 28 年 8 月 4 日（木）から
平成 29 年 1 月 20 日（金）

ア　平成 28 年 8 月 4 日（木）10:00～17:00

開講式開催

集合研修Ⅰ　講義

テーマ　「時代が求める訪問看護」

講師　望月律子（静岡県看護協会　会長）

イ　平成 28 年 9 月 15 日（木）9:30～16:30

集合研修Ⅱ　講義・演習

講義　「要介護高齢者に対する口腔ケア」

講師　藤森まり子（聖隷三方原病院　摂食・嚥下障害看護認定看護師）
田中直美（浜松市リハビリテーション病院　摂食･嚥下障害看護認定看護師）

ウ　平成 28 年 10 月 20 日（木）9:30～16:30

集合研修Ⅲ　講義・演習

講義　「呼吸リハビリテーション理解に必要な基礎知識」

講師　秋田剛史（静岡県立総合病院　呼吸器内科医長）

講義　「呼吸リハビリテーションの理論と実際」

講師　石井雄一朗（静岡県立総合病院　リハビリテーション科　主任理学療法士）

講義「在宅における呼吸リハビリテーション」

講師　山下敏寛（介護老人保健施設はるかぜリハビリテーション科　理学療法士）

エ　平成 29 年 1 月 20 日（金）9:30～16:30

閉講式開催

集合研修Ⅳ　講義

講義　「静岡県の訪問看護の現状」

講師　赤堀奈緒子（静岡県看護協会訪問看護ステーション掛川　所長）

講義　「地域包括ケアにおける看看連携」

講師　角田直枝（茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター　看護局長）

聴講者　4 名

オ　修了レポート

カ　訪問看護ステーション実習　2 日間

（2）訪問看護師養成講習会修了者　57 名

4　医療・看護安全相談

会員・非会員の看護職や県民等を対象に医療・看護の安全に係る相談等に対応し助言、情報提供を行った。

（1）平成 28 年度の相談状況

・相談対応者　常勤 理事等

・相談対応日　月曜日～金曜日（9:00～17:00）

・相談者及び相談件数　19 名（20 件）

5　静岡県からの受託事業

（1）ナースセンター事業

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、静岡県より委託を受け実施している事業である。

ア　ナースバンク事業

・看護職の求職相談・医療機関等からの求人相談

・再就業移動相談：ハローワーク沼津・富士・三島・静岡・清水・焼津・島田・掛川・浜松・磐田・浜北にて相談実施

・ナースセンター・ハローワーク連携事業による

再就業支援の実施（ナースセンターとハローワークの両機関からの支援を求める求職者に対して両機関が連携して就業支援を行う）
・遠隔地相談窓口として東部・西部に下田相談所、天竜相談所を運用
・本所の開設時間を 9 時～19 時とし就業相談時間を 3 時間延長(週 4 日火～金曜日)
・看護職の離職時等の届出制度（施設一括代行届出を推進）の運用
・求人施設訪問
・静岡県看護職員確保対策連絡協議会の開催（第 1 回平成 28 年 10 月 20 日、第 2 回平成 29 年 2 月 23 日）

イ　潜在看護師再就業支援事業
・再就業準備講習会
・病院・訪問看護ステーション派遣型再就業研修
・看護職員介護施設等再就業研修
・東部・中部・西部において看護技術演習
・県外における看護学生など UI ターン促進セミナー参加、ふじのくにに住みかえるセミナー（東京）・ふじのくに交流会

ウ「看護の心」普及啓発事業
・「看護の日・週間」記念行事
・ふれあい看護体験
・高校生 1 日ナース体験
・出前授業
・高校生等を対象とした看護学校等進路説明・相談会
・看護職こころざし育成セミナー

エ　離職防止対策事業
・悩みごと相談窓口業務
・セカンドキャリアセミナー
・再就業者フォローアップ研修
・退職者調査（施設・個人）
・「新人看護職員研修」「新人助産師研修」（再掲）
・新人看護職員指導者研修「新人看護職員研修責任者研修」「新人看護職員教育担当者・実地指導者研修」（再掲）
・新人教育に関する相談及び助言指導
・新人及び再就業者等に対する基礎看護技術演習（採血等）

オ　静岡 看護職のための合同就職相談会

カ　ナースセンター連絡会議の開催

キ　看護職員確保のための諸会議への参画

ク　広報活動
・市町広報誌への掲載
・ナースセンター　ホームページのスマートフォン対応化
・「看護しずおか」への掲載
・マスコミへの情報提供
・リーフレット等の配布
・看護学生を対象としたナースセンター紹介リーフレット作成・配布
・メールマガジンの配信
・地下道ショーケースの利用

（2）高齢者権利擁護等推進事業（看護実務者研修）
身体拘束廃止に向けた取り組み等、高齢者の権利擁護に対する取組みを推進するための研修事業である。
受講者　47 名

（3）看護職員管理者の相互研修
－暮らしをつなげる看護職員のための研修－
4 日間(実習を含む)
受講者　122 名

（4）看護の質向上促進研修
ア　中小施設等看護職対象　賀茂・東部・中部・西部地区
受講者　257 名
イ　診療所看護職対象　賀茂・東部・中部・西部地区
受講者　258 名

6　研修の実施

（1）認知症患者の看護Ⅰ－知っておきたい知識－
病院に勤務する看護師等に対し、認知症の人や家族を支えるために必要な基礎知識や、医療と介護の連携の重要性等の知識について習得するための研修を実施することにより、病院における認知症の人のケア向上を図る。
ア　日時　平成 28 年 7 月 6 日（水）9:30～16:30
場所　三島商工会議所
受講者　94 名
イ　日時　平成 28 年 7 月 15 日（金）9:30～16:30
場所　アクトシティ浜松研修交流センター
受講者　99 名

（2）認知症患者の看護Ⅱ－認知症ケアマネジメント編－
「認知症患者の看護Ⅰ」の学びを基に具体的な援助方法の見出し方、発信の仕方を認知症ケアマネジメントの考え方を用いて学ぶ。またグループワークでの事例検討を通して認知症患者が安心できるケア方法について学ぶ。
ア　日時　平成 28 年 10 月 5 日（水）9:30～16:30
場所　静岡県看護協会
受講者　108 名
イ　事例検討

7　ケアする人のケア

目的　介護に携わっている人は、常に感情のコントロールが求められるため、心身の疲労が蓄積されやすい状況にある。自宅で介護する方法や医療・福祉施設で働く看護・介護職が、元気に自信を持って対象者に関わり、より良いケアにつながるようリフレッシュ及び情報提供の場を提供する。

（1）訪問看護ステーションいわた「いわたキッズと親の交流会」

日時　平成28年8月20日（土）9:30～11:30
場所　磐田厚生会おおふじ学園
参加者　22名（小児、家族、衆議院議員1名、磐田市議会議員1名等）
内容　バルンアート、手遊び歌、絵本の読み聞かせ　父母交流会

（2）訪問看護ステーション清水「さくらばしサロン」

日時　平成28年10月19日（水）13:30～15:00
場所　訪問看護ステーション清水事業所内
参加者　8名（介護者、遺族）
内容　自己紹介、在宅で看取りの体験談、談話

（3）訪問看護ステーション掛川　遺族会「スイートピーの会」

日時　平成28年11月5日（土）13:30～15:30
場所　掛川市西部ふくしあ　桜木ホール
参加者　12名（ご遺族、関係者）
内容　おしゃべり会、レクリエーション、記念撮影、亡くなられた方へのメッセージ書き

（4）訪問看護ステーション大東「家族交流会」

日時　平成29年1月14日（土）10:00～11:30
場所　掛川市大東市民交流センター
参加者　11名（利用者及び家族）
内容　講話「低栄養の予防について」、座談会

8　関連機関主催事業参加

（1）元気応援フェア2016

日時　平成28年10月8日（土）9日（日）10:00～16:30
場所　ツインメッセ静岡　北館
内容　「まちの保健室」開設
来場者数　延356名

（2）男女共同参画の日　県民フェスティバル　あざれあメッセ2016

日時　平成28年10月29日（土）10:00～15:00
場所　静岡県男女共同参画センターあざれあ
内容　「まちの保健室」の開設
来場者数　延391名

（3）ふじのくにケアフェスタ2016

日時　平成28年9月17日（土）18日（日）10:00～16:30
場所　ツインメッセ静岡　北館
内容　「まちの保健室」開設
看護職の仕事紹介・就業相談
来場者数　延77名

5　委員会報告

職能委員会

（Ⅰ）保健師職能委員会

委員長　渥美恵子

1　活動目標

（1）地域における保健師活動指針の推進
（2）地域包括ケアシステムの推進に向けた職域別の課題の共有
（3）職域間の保健師の連携・ネットワークの強化
（4）会員拡大の推進

2　委員会開催　11回

3　活動内容

（1）職能集会

日時　平成28年7月16日（土）13：00～16：30
場所　静岡県看護協会第1研修室
参加者　95名
内容
・講演「地域包括ケアシステムを構築する～保健活動の発揮～」
講師　中板育美日本看護協会常任理事
・先進地の事例報告　三島市、磐田市、藤枝市
・グループワーク

（2）研修会

日時　平成28年11月26日（土）13：00～16：30
場所　静岡県看護協会第1研修室
参加者　50名
内容
・保健師職能委員会報告
・講演「慢性腎臓病重症化予防への取り組み」
講師　熊谷裕通（静岡県立大学食品栄養科学部教授）
・講演「生活習慣病重症化予防のための家庭訪問事業」
講師　森　輝乃（静岡県国民健康保険団体連合会）
・グループワーク

（3）子どもと子育て世代包括ケア推進モデル事業

ア　事例検討会

日時　平成28年11月24日（木）13:30～16:45
場所　磐田市立総合病院会議室
参加者　21名
助言者　日本看護協会保健師課　佐藤睦子
イ　研修会
日時　平成29年1月15日（日）13:30～17:00
場所　磐田市信用金庫ホール
参加者　81名
講演「これからの母子保健　妊娠期からの切れ目ない支援」
講師　中板育美（日本看護協会常任理事）

（4）会員拡大の取り組み
職能集会等での入会勧奨により、着実に会員獲得に取り組んだ。

（5）日本看護協会主催都道府県職能委員長会議
ア　第1回都道府県職能委員長会議
日時　平成28年8月3日（水）10：00～16：00
場所　東京　フクラシア品川クリスタルスクエア
内容
・平成 28 年度保健師関連事業・保健師職能委員会活動
・鼎談「自治体保健師の標準的キャリアラダー／キャリアパス」
イ　第2回都道府県職能委員長会
日時　平成29年3月3日（金）10：00～16：00
場所　東京ＴＫＰ市ヶ谷カンファレンスセンター
内容
・平成28年度保健師職能委員会活動報告
・平成29年度重点政策・重点事業
・グループ討議（地域医療計画の策定・推進をよりよいものとしていくために）
ウ　東海・北陸地区別職能委員長会
日時　平成28年10月7日（金）9：00～15：00
場所　三重県　伊勢シティホテル
内容
・日本看護協会保健師職能委員会活動報告
・意見交換会（統括保健師の配置推進について）

（6）全国保健師職能集会（日看協総会）
日時　平成28年6月9日（木）9：30～16：00
場所　東京ベイ幕張ホール2階
内容　・平成27年度保健師職能委員会活動報告
・平成28年度保健師職能委員会活動方針
・講演「妊娠から子育ての切れ目のない支援に向けて」
フィンランド大使館広報部　堀内都喜子
吉備国際大学大学院教授　高橋睦子
・シンポジウム「創ろう！使おう！私たちのキャリアラダー」

（7）その他の活動に参加
ア　しずおか元気応援フェア2016「まちの保健室」健康相談

4　今後の課題
地域包括ケアシステム構築推進に向けて、日常業務の中から地域課題を捉え地域づくりを実践、推進していくための努力をしている。次年度も継続して他都道府県、市町村の先進事例を紹介、実践の共有化を行う。また、産業保健スタッフとしての活動の場が拡大していることから保健師間の連携や研修の場を活用しての各職域別の課題に対応していく。

5　委員　7名
（保）大川香　大沼朱美　辻村あつ子
山下典子　佐藤圭子　小出裕子
（担当理事）渥美恵子

（Ⅱ）助産師職能委員会

委員長　神谷瀧子

1　活動目標
（1）研修会等を通して助産師の専門的技術力を高め、より質の高いサービスを市民に提供する。
（2）市民への広報やイベントを通して助産師の地域における活動の周知を図る。

2　委員会開催　12回　小委員会1回

3　活動内容
（1）助産実践能力強化研修会
日時　平成28年7月23日（土）9:30～12:30
テーマ『周産期領域での倫理的課題』
講師 静岡県立大学　太田尚子教授
場所 静岡県看護協会　第1会議室
参加者　48名
内　容　CLoCMiP レベルⅢ認証申請に必要なスキルアップ研修
・助産師のコア・コンピテンシー
・生命倫理を考える上での原理
・倫理の基盤となっている概念
・ケアリングと女性中心のケア
・助産師の倫理綱領
・周産期における倫理的問題
・障がい新生児のケースから生命倫理を考える

（2）いいお産の日
テーマ『支え合ういのち～心と体を育む力～』
日時　平成28年11月12日（土）10:00～16:00
場所　アピタ静岡店
参加者　140名
内容

・助産師活動写真
・助産師の変遷
・育児相談コーナー
・お昼寝アート
・赤ちゃん抱っこ体験、妊婦体験
・リーフレット、風船、ポケットティッシュ
配布 2000 個

（3）新人助産師研修会
テーマ『助産師の仲間作りをしよう』
日時　平成 29 年 1 月 18 日（水）10:00～16:30
場所　静岡県看護協会　第 1 会議室
参加者　18 名
内容
・新人助産師への期待（キャリアパスを描こう・ポートフォリオについて）
・周産期の倫理の考え方（講師：聖隷浜松病院母性専門看護師　爪田久美子）
・先輩助産師活動報告
・グループワーク「講義を聴いて感じたこと、これからの自分について」
・意見交換と発表

（4）助産師職能集会
テーマ　『助産師の必要人数の算出』
日時　平成 29 年 2 月 25 日（土）10:00～15:30
場所　静岡県看護協会　第 1 会議室
参加者　33 名
内容
・講演「助産師の必要人数の算出に関する考え方」
講師　福井トシ子（日本看護協会　常任理事）
・グループワーク　施設別の必要人数算出と発表

（5）日本看護協会主催都道府県職能委員長会議
ア　第 1 回全国職能委員長会
日時　平成 28 年 8 月 3 日（水）
場所　フクラシア品川クリスタルスクエア
議題
（ア）平成 28 年度重点政策・重点事業説明
（イ）東日本大震災及び熊本地震から学ぶ：
・文京区における災害時の「妊産婦・乳児救護所の取り組み
・東日本大震災における妊産婦受入れ時のトリアージ
・熊本市立病院における発災時の助産師のネットワーク
・熊本地震における熊本県周産期医療情報ネットワークを活用した母子支援
（ウ）災害時における周産期医療ネットワーク体制の現状と課題グループ討議

イ　第 2 回全国職能委員長会
日時　平成 29 年 3 月 3 日（金）
場所　TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター
議題
（ア）平成 28 年度重点政策・重点事業報告
（イ）災害時における周産期医療ネットワーク体制の現状と各地区の活動報告
・地域の取り組み：京都市中京区の取り組み
・県看護協会の取り組み：大阪府看護協会助産師職能委員会
・施設での取り組み：高知医療センター
（ウ）災害時小児周産期リエゾンの活動と助産師に求められる役割
（エ）CLoCMiP レベルⅢ認証制度の評価と更新要件案について
（オ）小児在宅移行支援指導者育成施行事業について

ウ　東海・北陸地区別職能委員長会
日時　平成 28 年 10 月 7 日（金）
場所　三重県　「伊勢シティホテル」
議題
（ア）助産師職能委員会報告
（イ）都道府県看護協会助産師職能委員会活動状況結果
（ウ）グループ討議：災害時における周産期医療ネットワーク体制の現状と各地区の活動方針

4　今後の課題
日本看護協会助産師職能委員会が精力的に推進している、CLoCMiP レベルⅢの第 2 回の承認申請が平成 28 年 8 月から開始され、2 年間で 11,002 名のアドバンス助産師が誕生した（静岡県は 280 名）。今後このアドバンス助産師が各施設でどのような活動をして行くのか注目される。また、5 年後の更新に向けての要件も検討され始めた。
日本看護協会の今年のテーマは、災害時における周産期医療ネットワークであった。南海トラフの大地震がいつ来てもおかしくないと言われている久しい。各施設全体の災害マニュアルは作成されてはいるが、周産期に特化したものは作られていない所が多い。妊産褥婦がどこで災害に遭遇するか分からない。病院・地域・行政との連携をどうするかも検討していかなければならない。

5　委員　6 名
(助) 佐野ゆみ　菅原早苗　杉山恵美　杉村千春
梅田奈智加　永井　梓
(担当理事) 神谷瀧子

（Ⅲ）看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）

委員長　松本志保子

1　活動目標

（1）雇用の質向上のための取り組み

（2）看護職の労働環境の改善及び就業促進

（3）看護補助者の活用に関する調査結果のまとめと公表

2　委員会開催　12回

3　活動内容

（1）准看護師研修会

事業の概要：准看護師のネットワークと学ぶ環境を整え、看護の質向上と進学への意欲を高める支援を行う。また、看護専門学校進学にむけた継続的な支援を行う。

日時　平成28年6月18日（土）13:30～16:30

場所　静岡県看護協会　研修室

参加者　56名

内容

・准看護師の動向

・准看護師から看護師へ免許取得者の体験談

・講義「看護行為の根拠を知ろう　気管吸引」

・GW「日常の看護行為を振り返ってみよう」

評価　アンケート結果

（2）看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同交流会

事業の概要：医療体制が大きく変化しようとしていることを踏まえ、病院看護師の役割を再認識するとともに、各地域の取り組みについて理解することを目的とした。

日時　平成29年2月4日（土）9:45～16:00

場所　静岡県看護協会　　第1研修室

参加者　122名

内容

・講演　テーマ「地域を支える看看連携」

講師 角田直枝氏(茨城県立中央病院 茨城県地域がんセンター看護局長 がん看護専門看護師)

・実践報告

テーマ“病院から地域へつなげる看看連携事例”

「院内退院支援看護師の育成と退院調整の実際」

名倉桂古（聖隷浜松病院）

「退院後訪問の実際」

大石和子（市立島田市民病院）

「小児の在宅調整の実際」

高橋定子（静岡県立こども病院）

・グループワーク

テーマ「病院から地域につなげる支援“私たちに何ができるか”」

事例1：壮年期がん末期　事例2：老年期看取り

事例3：小児

評価　アンケート結果

（3）看護職員と看護補助者の業務分担に関する調査

事業の概要：看護職員と看護補助者が相互に役割を認識し、協働するために必要な「看護補助者の業務基準および業務マニュアル」が整備されたうえで、業務実践しているか明らかにすることにより、看護職員が専門性を要する業務に専念するための課題が明確になり、看護補助者の活用につながると考え取り組んだ。

結果報告：第5回静岡県看護学会

平成29年1月21日（土）静岡県コンベンションホール　グランシップ於

演題：「病院で働く看護補助者の業務内容と研修の実態に関する調査」

4　今後の課題

（1）変化する医療提供体制に応じた看護師長の担う役割を考える場つくり

（2）病院、施設、在宅の看看連携の強化推進

（3）准看護師のスキルアップと進学にむけた支援

5　委員　6名

（看）山内恭子　中澤範子　山田晶子　中野悦代　田中　稔　中野美起子

（担当理事）松本志保子

（Ⅳ）看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）

委員長　松井　順子

1　活動目標

（1）看護師職能委員会Ⅰと合同で研修会・交流会を開催し、看看連携の強化を図る

（2）地区支部単位で多職種交流会を企画・開催する

（3）「自分らしい最期」を迎えるため、意思決定を支えるための市民啓蒙を含めた活動を行う

（4）平成27年度に開催した「地区別施設・在宅多職種交流会」での看取りに関する意識アンケートの分析を行い、職能活動に役立てる

2　委員会開催　12回

3　活動内容

（1）地区別多職種合同研修会開催

共通テーマ「多職種が支える終末期ケア」～私たちの立場でできること～

・西部＜聖隷袋井市民病院＞

9月10日（土）参加者50名

・東部＜湖山リハビリテーション病院＞
11 月 12 日（土）参加者 43 名
・中部＜島田市民総合プラザおおるり＞
12 月 3 日（土）参加者 54 名
合計 147 名

（2）市民公開講座「生死（いきたひ）」
ドキュメンタリー映画上映会及び長谷川ひろ子監督講演会開催
・11 月 26 日（土）浜松アクトシティ研修交流センター音楽工房ホール
参加者　162 名

（3）看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同交流会
・平成 29 年 3 月 4 日（土）
静岡県看護協会第 1・2 研修室
テーマ「私のまちは私たちで支える看看連携」
参加者 122 名

（4）教育研修部研修「高齢者ケア施設等看護従事者のための研修」にファシリテーターとして協力

（5）看護師職能委員会Ⅱの活動 PR のためのパンフレット作り

4　今後の課題

（1）開催場所を地域の病院・市民会館を活用したことで、より地域に密着した参加者との交流ができた。地域包括ケアシステム構築のためにも各地域での医療・介護の専門職が協力し合って活動することが重要であり、地域の同様な研修会と協力しながら平成29年度地区別の活動をしていきたい。

（2）多職種合同研修会を開催する中で、多職種交流の重要性と同時に、病院・施設・在宅の看護師同志の看看連携の重要性も再認識した。平成 29 年度は切れ目なく協働できる看看連携を強化する活動をしていきたい。

（3）病院・施設・在宅の看看連携を進める上で、重要な役割と考えられる施設看護管理者（特に特別養護老人ホーム）同志のネットワークを作る活動を進めていきたい。

5　委員　6 名

（看）安藤しのぶ　渡邊浩美　川島扶美子　黒川佳子
星ともこ　安原まゆみ
（担当理事）松井順子

推薦委員会

委員長　遠藤さよ子

1　活動目標

静岡県看護協会の理念の実現に向け、役員等の改選に伴う選挙の執行、日本看護協会総会代議員・予備代議員選出等に当たり、透明性及び公平性を確保するとともに候補者の人権を尊重し、立候補の届け出を考慮したうえで、活力ある組織作りを目指して、開かれた公平かつ公正な推薦を行う。

2　委員会開催　10 回

3　活動内容

（1）公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出に関する推薦委員会内規と静岡県看護協会の定款・細則等の規程に基づく推薦委員会マニュアル、所掌範囲の確認と次年度の推薦に向けて情報交換

（2）平成 30 年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員の推薦

（3）平成 29・30 年度役員等改選による選挙候補者の選挙候補者の推薦

（4）平成 29・30 年度職能委員の推薦

4　今後の課題

日本看護協会通常総会代議員について、一般会員への関心を高める企画と実践、定款、細則に則った代議員の選出

理事会が行う役員の推薦業務と推薦委員会が行う推薦業務について密接な連携を取りながら進める

5　委員　8 名

（保）友田あき子　宮地良江
（助）諸星浩美　遠藤さよ子
（看）沼倉町枝　桜井郁子　鈴木操　太田優子
（担当理事）柏崎順子

委　員　会

（Ⅰ）教育委員会

委員長　飯沼むつみ

1　活動目標

（1）研修の目的を理解し、受講者の目的達成のために支援する

（2）研修結果から受講者のニーズと企画意図を分析・評価する

（3）研修ニーズを調査し実践の場で求められる専門知識・技術を教育計画に反映させる

（4）教育活動で得られたデーターや資料を研究活動に繋げる

2　委員会開催　11 回
研修開催　　20 コース　37.5 日間

3　活動内容

（1）　教育研修の企画・運営

ア　看護実践能力の育成

・看護と倫理－倫理的問題の分析－ 11/10、11/11

・看護実践と理論－私が大切にしている看護－ 7/21、7/22

・事例で学ぶフィジカルアセスメント　9/16

・糖尿病重症化予防のための食事指導　12/6

・急性期と回復期をつなぐ脳卒中リハビリテーション看護　29.1/19

・小児救急看護　5/24

・精神看護－うつ病の理解と看護－　11/17

・医療安全の基礎知識　9/9

イ　組織的役割遂行能力の育成

・感染管理－感染予防リンクナース研修－ 8/19、8/20

・感染管理－マネジメント編－　10/28

・リーダー研修－コミュニケーション－　7/4

・リーダー研修－中堅看護師としてのリーダーシップ－　8/10

・リーダー研修－問題解決技法－ 9/20、9/21、12/2

・ナラティヴ・アプローチ－看護を語る風土を作る－　10/21、10/31、11/29、12/12、29.1/20

・グループワークを取り入れた参加型研修の進め方　8/27、11/18

・医療安全管理者養成研修　7/27、7/28、7/29、8/2、8/3、8/4、8/5、11/16

・認定看護師交流研修－地域包括ケアにおける認定看護師の役割と期待－　12/17

ウ　自己教育の推進

・小論文・レポートの書き方講座　2/21、2/24

エ　トピックス

・緩和ケアのエッセンスークオリティ・オブ・ライフを支える－　5/23 半日

・ヒーリングタッチ－ナースが元氣になるために－　12/9 半日

（2）研修後の評価

20 コース 37.5 日間の研修で参加者 1,142 名、聴講者 64 名

4　今後の課題

（1）地域医療計画推進により、看護職の働く場が拡大するなかで、看護に期待される専門職の役割を発揮するために必要な看護実践能力や他職種と連携する力が期待されている。共通した看護実践能力の向上、場の特殊性に応じた看護の適応方法など、会員のニーズに応えるための研修企画を検討していきたい。

（2）研修終了後に得られたデーターや資料を今後の研修に活かすとともに、今後の研修計画に反映させていきたい。

5　委員　8 名

（助）飯沼むつみ　竜崎千明

（看）鈴木美恵子　林恵子　石川芳子　海野智未　小林美和子　原弘子

（担当理事）齋藤伸子

（Ⅱ）広報委員会

委員長　鈴木ふみえ

1　活動目標

会員及び一般県民への協会活動の周知と会員相互の情報交換を推進する。

2　委員会開催　12 回

3　活動内容

（1）「看護しずおか」の発行　　6 回

「看護しずおか」では、特集として地域包括ケアシステムの推進にむけて、「医療と介護等の連携による地域包括システムの姿」と静岡県地域医療構想に掲げる「実現に向けた方向性」の概要を掲載した。また、平成 28 年 4 月 14 日の熊本地震における災害支援報告や就職 2 年目の看護師、看護職夫婦、酉年生まれの看護師の紹介、地区支部活動報告、三職能委員会活動報告など、より多くの会員の顔や声が読者に届くように特集を組んだ。

「活躍する認定看護師」はシリーズ化し、「先人に聞く・忘れられない看護」「お仕事拝見」欄も取材活動により看護職の活躍を紹介し、紙面の充実に努めた。

（2）モニター活動

各職能委員会より推薦されたモニター11 人から「看護しずおか」各号に対する意見をアンケートにより聞いた。

また、モニター会議(平成 28 年 8 月 5 日)では、オフィス O_2 大国田鶴子氏による講話「～広報紙をより知るためのコツ～情報誌の作り方、作り手の思い」と意見交換を行った。

4　今後の課題

協会活動や看護・医療の情報提供の充実を図ると共に、幅広い方々の意見を聞き、興味深く読みやすい紙面づくりに努めていきたい。

5　委員　7 名

（保）稲葉やす子　鈴木ふみえ

（助）伊藤葉子　松前勝美
（看）宮城淑乃　平野通乃　木村めぐみ
（担当理事）柏崎順子

（Ⅲ）災害看護対策委員会

委員長　鈴木ひろみ

1　活動目標
（1）災害対策に関する意識の啓発を図り災害支援に関する事業を推進する。
ア　災害支援ナースの育成事業の実施及び構築をする。
イ　地区支部と協力し、恒常的に地域住民に対し減殺の啓発および支援を推進する。
ウ　会員に対して、災害に関する意識の啓発を図る。

2　委員会開催　10回

3　活動内容
（1）災害支援ナース登録者研修
日時　平成28年8月26日（金）
場所　静岡グランシップ
参加者　388名
内容「静岡県看護協会防災計画書」変更点の説明
熊本地震における災害支援ナース派遣要請への対応について
熊本地震における災害支援活動報告
講師　鈴木ひろみ（災害看護対策委員長）
柏崎順子（静岡県看護協会　専務理事）
島村通子（静岡県健康増進課）
鵜飼亮太（磐田市立総合病院）
鈴木美香代（浜松赤十字病院）
吉澤和弘（静岡市立静岡病院）
築地多津子（静岡市健康づくり推進課）
（2）災害看護一般研修Ⅰ
日時　平成28年11月15日（火）
場所　静岡県看護協会第1研修室
参加者　59名
内容　災害の基礎知識　クロスロード
講師　興津のり子（静岡県中部危機管理局主査）
望月俊明（静岡県立総合病院　救急看護認定看護師）
（3）災害支援ナース育成研修
日時　平成29年1月28日（土）～30日（月）
場所　静岡県看護協会第1研修室
参加者　54名
内容　災害看護の基本、こころのケア・机上シミュレーション・避難所体験・チームビルディング・クロスロード・非常食の試食
講師　山﨑達枝（東京医科大学医学部看護学科災害看護准教授）
（4）災害看護一般研修Ⅱ
日時　平成29年3月10日（金）
場所　静岡県看護協会第1会議室
参加者　23名
内容　災害時の初期対応とロジスティックス
講師　高桑大介（伊豆赤十字病院　事務部長　医療社会事業部長）

4　今後の課題
（1）災害看護一般研修Ⅰ、災害看護一般研修Ⅱへの参加人数が少ないため、募集方法や開催時期の検討が必要である
（2）災害支援ナース受援マニュアルがないため作成予定

5　委員　5名
（看）鈴木ひろみ　春日三千代　牧野仁美　池谷綾子　勝間田敏弘
（担当理事）柏崎順子

（Ⅳ）働き続けられる職場づくり推進委員会

委員長　加納江理

1　活動目標
看護職が健康で安全・安心して働き続けられる環境づくりを目的に、28年度は職場のマネジメント強化と、人間関係の調整や職場のハラスメント対策に焦点を当て事業の推進を図る。

2　委員会開催　12回

3　活動内容
（1）第1回労働環境に関する研修会
看護職の労働環境改善のためのマネジメント研修
日時　平成28年6月4日（土）
場所　静岡県看護協会
参加者　71名　（看護管理職）
講師　小池智子（慶応義塾大学　看護医療学部准教授　看護学博士）
目的　働き続けられる職場づくりのために看護管理者が、職場でのマネジメントを通じ、労働環境を改善する実践について学ぶ
研修内容
- 看護職のキャリア・労働環境を取り巻く環境
- 看護職の離職理由の動向
- 雇用の質を高める職場改善活動
- 事例を使ったケースメソッドとディスカッション

（2）第2回労働環境に関する研修会
離職防止対策のためのハラスメント対応研修

日時　平成28年11月12日（土）
場所　静岡県看護協会
参加者　79名
講師　三木明子（筑波大学医学医療系准教授）
目的　現場の管理者が人間関係の調整や職場のハラスメント対策を学ぶことで働き続けられる職場づくりを考える
研修内容
- 病院現場で発生するハラスメント
- 事例を用いたパワーハラスメントに当たる具体的な行為や言動についてのグループディスカッション
- パワーハラスメント防止の為の管理者の役割
- パワーハラスメントの予防と解決に向けて

（3）広報活動
目的　「看護しずおか」に医療安全情報を掲載することにより、医療安全の推進を図る。
＊「看護しずおか」　6回掲載
掲載内容　日本看護協会が作成した「医療安全推進のための標準テキスト」が静岡県内に広く周知されるよう重要と判断した内容を抜粋した。

（4）研究について
テーマ　中高年看護師のキャリア形成に対する看護管理者の支援に関する研究
目的　看護管理者は、中高年看護師のキャリア形成についてどのように考え、どのような取り組みをしているか
結果　中高年看護師が持てる力を十分発揮する為に、看護管理者は、現在の研修制度に加え、看護観を語る場・中高年看護師の交流の研修の場づくりの構築が有用であると示唆された。

4　今後の課題
看護職が健康で安全安心して働き続けられる環境づくりを目的に、啓発・普及および交流会活動を推進してきた。働き続けられる職場づくりに焦点を当てた交流会や講演会を開催し、労働衛生環境および医療安全の整備を推進してきた。
研修会においては、事前に参加者から参加動機を募集し、目的意識が明確になるようにした。それを講師に伝えることで、内容にも反映できたと考える。
平成28年度に実施した調査研究において、県内の看護管理者は、ジェネラリストが臨床現場で生き生き働くための支援に関して意欲を持ちながらも、困難を抱えていることが示唆された。加えて、中間管理職である各部署の管理者が、組織におけるジェネラリストの活用について大きな役割を担っていることも調査結果から導き出されている。そのため、平成29年度は、中間管理者を対象として、中堅～ベテラン看護師が生き生きと働き続けられる職場環境を作るための研修会を企画。また、この調査結果をまとめ、日本看護学会看護管理において報告を計画している。

5　委員　6名
（助）西岡恵美
（看）加納江理　村井京子　藤田晴美　平野一美　藤城龍子
（担当理事）　鈴木千春

（V）学術研究推進委員会

委員長　青木和惠

1　活動目的
本委員会は、静岡県看護協会の教育目的・目標に基づき、看護の質の向上を図ることにより人々の健康と福祉に貢献するため、看護研究の推進と研修事業の充実を図ることを目的としている。

2　委員会開催　9回

3　活動内容
（1）第5回 静岡県看護学会の開催
日時　平成29年1月21日（土）10：00～16：30
場所　静岡県ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｱｰﾂｾﾝﾀｰ ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ10階
参加者　381名
学会テーマ　ーなぜ「寄り添う」がむずかしいのかー
発表演題　18題　① 口演 7題　② 示説 11題
基調講演　ーなぜ「寄り添う」がむずかしいのかー
講師　富田富士也（子ども家庭教育ﾌｫｰﾗﾑ 教育・心理ｶｳﾝｾﾗｰ）
座長　原澤純子（常葉大学 健康科学部 看護学科）
ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ　ーなぜ「寄り添う」がむずかしいのかー
ｼﾝﾎﾟｼﾞｽﾄ
浅原聡子（ｸﾞﾘｰﾌｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ ivy　CGC認定ｸﾞﾘｰﾌｶｳﾝｾﾗｰ）
藤原東演（宝泰寺　住職）
爪田久美子（聖隷浜松病院 母性看護専門看護師）
鈴木恵子・ヨギ（ｼｬｲﾝ・ｵﾝ・ｷｯｽﾞ ﾌｧｼﾘﾃｨﾄﾞｯｸﾞ・ﾊﾝﾄﾞﾗｰ）
座長　青木和惠（静岡県立大学 看護学部）
書籍展示　1社
（2）「看護研究の第一歩」
東部・中部・西部地区で開催　各1日
7/9　順天堂大学 三島ｷｬﾝﾊﾟｽ　39名

6/24　静岡県看護協会　43 名
7/ 2　ｱｸﾄｼﾃｨ浜松　22 名
計 104 名

（3）「看護研究の基礎」
東部・中部・西部地区開催　各 3 日間
8/12 ,13, 9/13　順天堂大学 三島ｷｬﾝﾊﾟｽ　20 名
7/1, 2,　9/2　静岡県看護協会　23 名
8/8, 9, 9/6　聖隷ｸﾘｽﾄﾌｧｰ大学 10 名
計 53 名

（4）「効果的なﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ技法」
日時　10/22
場所　静岡県看護協会
参加者　46 名
講師　坂尾英明　(JA 静岡厚生連)

（5）静岡県看護協会看護研究費助成金交付事業の申請は、本年度はなかった。

4　今後の課題

（1）学会の内容の質の向上と充実を図る。
ア　演題数の増加を図る
・地区支部報告会との連携を図る。
・積極的に、広範囲に広報する。
イ　参加者の増加を図る。
・学会ﾃｰﾏやｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑなどで、臨床現場の状況に則したﾃｰﾏを選択し、企画する。
・積極的に、広範囲に広報する。
ロ　新たな会場で学会を開催した。
・数年間に渡りｽﾗｲﾄﾞ映写画面が暗いとの指摘があり、対応するが映写機器の問題であり、改善が困難であったため、学会会場を静岡県ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝｱｰﾂｾﾝﾀｰ ｸﾞﾗﾝｼｯﾌﾟ 10 階で開催した。
・ｽﾗｲﾄﾞは問題なく映写できた。また、駅の近くでｱｸｾｽが良く、清潔との評価であった。

（2）研究に関する系統的研修の実施。
・「看護研究の第一歩」と「看護研究の基礎」の研修の目標を明確にして講義内容を検討し、「効果的なﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ」を含め、3 つの研修が看護研究に繋がるような、系統的な研修となるように計画する。
・3 か所の会場で研修を行っていた「看護研究の第一歩」と「看護研究の基礎」は西部地区では各施設で教育されているため、参加者が少なく、かつ、ﾆｰｽﾞが低いため次年度より中止する。

（3）看護実践の中にある研究動機を大切にし、臨床での研究活動が活性化されるよう事業について広報する。

5　委員　6 名
（助）爪田久美子
（看）青木和恵　管原清子　原澤純子
鈴木かおり　小野田弓恵
（担当理事）齋藤伸子

特別委員会

（Ⅰ）認定看護管理者教育運営委員会

委員長　山本加枝子

1　活動目標
（1）様々な受講ニーズを踏まえ、各教育課程の開講の企画・運営について検討する。
（2）ファースト・セカンド・サードレベル教育課程を開講する。
（3）認定看護管理者教育機関更新審査を受審する。
（4）静岡県内の認定看護管理者の活動を支援する。

2　委員会の開催　4 回

3　活動内容
（1）委員会
ア　ファースト・セカンド・サードレベルの各教育課程の運営と評価
イ　セカンドレベルフォローアップ研修の運営と評価
ウ　平成 29 年度の教育課程開催要綱及びカリキュラムの検討（ファースト・セカンド）
エ　認定看護管理者教育機関の更新審査に向けた準備と、受審後の附帯事項の対応
オ 静岡県内の認定看護管理者の活動の支援と研修会開催の検討

（2）　教育課程の運営
ア　ファーストレベル教育課程
・開催時間　156 時間（27 日間）
・平成 28 年 5 月 11 日～7 月 20 日
・66 名受講、67 名修了
（1 名は前年度の未修了者）
・県内認定看護管理者 11 名に講師を依頼
イ　セカンドレベル教育課程
・開催時間　180 時間（32 日間）
・平成 28 年 11 月 9 日～2 月 22 日
・32 名受講　32 名修了
・県内認定看護管理者 12 名に講師とコーディネーターを依頼
ウ　セカンドレベルフォローアップ研修
・開催時間　6 時間（1 日間）
・平成 29 年 2 月 24 日
・対象　平成 27 年度セカンドレベル受講生 35 名の内、33 名が参加（2 名欠席）

エ　サードレベル教育課程
・開催時間　180 時間（32 日間）
・平成 28 年 7 月 4 日～11 月 2 日
・22 名受講　22 名修了
・県内認定看護管理者 6 名に講師とコーディネーターを依頼

（3）認定看護管理者教育機関の更新審査を受審
・受審日　平成 28 年 10 月 31 日
・認定証　平成 29 年 3 月 22 日受領

（4）静岡県内の認定看護管理者の活動の支援
・静岡県内の認定看護管理者を講師として登用する
・研修会開催の検討
テーマ：看護の将来ビジョンの具現化に取り組むリーダー
講　師：未定
研修日：平成 29 年度中に実施予定

4　今後の課題
受講生の年齢、職位、施設背景など多様化が見られる。様々な受講ニーズへの対応として、研修終了後、自施設において教育効果がどうであったか、追跡調査などが必要である。

5　委員　6 名
（看）山本加枝子　近藤ふさえ　津島準子
桜井真理子　鈴木優子　松井泰子
（担当理事）齋藤伸子

（Ⅱ）看護の日・週間企画実行委員会

委員長　市川幸子

1　活動目標
「看護の心」普及啓発活動を通じて県民一人一人が看護について関心を高め、理解をふかめることで、あらゆる年代の人がお互いに支え合い安心な長寿社会を目指す。

2　委員会開催　9 回

3　活動内容
「看護の日・週間記念行事」の開催
日時　平成 28 年 5 月 14 日（土）10:00～15:00
テーマ「大切な人を“まもる”あなたも看護師さん」
21 世紀の高齢社会を支えていくためには、人に対する思いやりの気持ちをもち、世代を超えてお互いに支え合うことがとても大切である。そこで県民一人ひとりが看護の心を大切に、命と暮らし、そして尊厳を守り支える未来に繋げていくためにあなたができることを一緒に考えていきましょう。
場所　ららぽーと磐田　2F 特設会場
担当者　実行委員・協力委員など 41 名
来場者　961 名
内容
（1）健康チェック・健康相談・血圧測定・体脂肪測定など
（2）育児相談・介護相談
（3）就業・進路相談
（4）救急蘇生法実演（AED 含め）
（5）高齢者体験・妊婦体験・赤ちゃん抱っこ体験
（6）ちびっこナース撮影会
（7）ハンドケア
（8）美肌チェック
（9）写真展「看護のあたたかさが見えるシーン」
（10）バルーンアート

4　まとめ及び今後の課題
「大切な人を“まもる”あなたも看護師さん」というテーマでイベントを開催した。健康相談では、自分の病状について長い時間をかけて相談する方や、お話を聴いてもらって安心する姿もあった。看護の見える写真展、美肌チェックやハンドケアでは、いつも家族の健康に気を配っている主婦の方々にひと時の安らぎと、日頃の自分の生活を振り返る良い機会になった。また、ちびっこナースやバルーンアート、妊婦・高齢者体験や赤ちゃん抱っこの会場では、多くの子供たちが来場し、恐る恐る大事に赤ちゃんを抱っこする姿が微笑ましかった。世代を超えて支え合うとした、今回のテーマは実現できたのではないかと考える。今後も看護の心を伝えるために、看護職として多くの人たちと関わりたい。

5　委員　7 名
（看）市川幸子　村上真弓　平岡智子　川口多恵子
山田まち子　藤井千穂子　北堀昌代
（担当理事）鈴木千春

（Ⅲ）ＷＬＢ推進委員会

委員長　鈴木千春

1　活動目標
看護職のワーク・ライフ・バランスに取り組む医療施設が増加することにより、労働環境の改善に取り組む医療施設が広がり看護職の確保定着への継続的な取り組みが促進される

2　委員会開催　4 回

3　活動内容
（1）ワーク・ライフ・バランス推進体制及び年間スケジュールの決定
（2）参加施設の担当支援者の決定
（3）参加施設への訪問及び、組み状況シートにより相談対応、進捗状況の把握と意見交換
（4）ワークショップ、フォローアップワークショップのプログラム作成、役割の決定及び開催
（5）看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告書（Ⅱ）の作成・発行
（6）看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告書（Ⅲ）の作成・発行準備

4　今後の課題
看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ事業の形式は終了するが、引き続き県委託事業である看護職確保・定着事業を推進するナースセンター内の再就業支援センターと連携し「働き続けられる勤務環境等改善支援」を継続する。

5　委員　9名
鈴木千春　岡村暁美　塩田美佐代　鳥羽山睦子
桑原弓枝　山内みゆき　齋藤清江　浅野秀浩
杉原孝幸

（Ⅳ）認定看護師教育課程運営検討委員会

委員長　望月律子

1　活動目標
静岡県看護協会の「脳卒中リハビリテーション看護」認定看護師教育課程の継続の是非を検討する

2　委員会開催　1回

3　委員会活動
（1）開催日
平成29年3月9日(木) 10：00～12：00
（2）内　容
ア「脳卒中リハビリテーション看護」認定看護師教育課程開講の経緯と状況
イ 平成28年度受講希望調査の報告
ウ 平成30年度の開講の是非とその対応
エ 脳卒中リハビリテーション認定看護師教育機関の方向性
オ 静岡県看護協会としての認定看護師教育の方向性
（3）まとめ
ア 平成30年度の開講
３期、４期は定員の３割の受講者であり、H30年の受講者は、受講希望調査結果から確保が極めて困難である。受講者確保と教員確保の見通しが立たないことで、休講とする
イ 教育課程の方向性
受講者の確保できる可能性が少ないことに加え、教育機関認定の時期と日本看護協会認定看護師制度の変更時期が重なるため、ひとまず閉講とする
ウ 認定看護師の方向性
・新たな分野の開設は、受講者数や教員の確保教育環境を検討し、慎重に行う
・教育課程修了者の支援は、フォローアップ研修の開催、協会活動等で活躍の場を提供する
・H30年の受講希望者には、希望があれば受験準備等の支援を行う

4　今後の課題
上記まとめを理事会に答申した

5　委員　7名
飯沼むつみ　小川秋美　小笠原直美
松本志保子　望月律子　平井弘美　渡邊昌子